

広報紙配布部数 (令和7年3月現在)

西大路町	730部	池田町	1,630部
東大路町	55部	花田町	200部
大	1,150部	松ヶ丘町	170部
レックスガーデン	210部	緑ヶ丘町	230部
紅葉ヶ丘町	400部	桃ヶ丘町	60部
五月ヶ丘町	120部	箕ヶ丘町	970部
池原さくら町	65部	新小松里町	165部
額原町	500部	下池田町	940部
小松里町	790部	下池田東町	400部
額	1,000部		(順不同)

全八木地区みんなの広報紙



第 38 号

2025(令和7)年3月1日発行

発行所 八木地区市民協議会
発行者 笠 松 武 志
連絡先 市立八木市民センター
☎443-6848

ご挨拶



会長
笠松 武志

八木地区市民協議会 活動報告

大切な事を再確認させられた出来事でもありました。

さて、我々市民協議会の各部会では、このような防災対策も含め、安心安全な街づくりができるように、様々な活動を行っています。

八木地区の皆様、こんにちは。西大路町の笠松武志です。昨年度に引き続き、令和6年度も八木地区市民協議会の会長を務めさせていただいております。

各町会・各種団体・学校関係者の皆様におかれましては、平素より八木地区市民協議会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

活動報告の前に、正月元日に起きた能登半島大地震で亡くなりになった方々、負傷された方々、住まいをなくされた方々に、お悔やみとお見舞いを申し上げます。

令和6年1月2日には航空機の衝突火災事故が起こりましたが、幸いにも客室乗務員の俊敏な判断による乗客の誘導のお陰で、怪我人もなく脱出することができ、人的な被害を逃れることができました。これは、日頃の危機管理・安全対策訓練の賜物であると思われまふ。

六月には復興途中の能登半島に線状降水帯が発生し、奥能登地域を中心に河川の氾濫、土砂災害が多発して、復旧工事もストップしてしまいました。

これらは、改めて自然災害・人的災害の恐ろしさを思い知らされた出来事であり、日ごろからの地域での防災対策の

大切さを再確認させられた出来事でもありました。

さて、我々市民協議会の各部会では、このような防災対策も含め、安心安全な街づくりができるように、様々な活動を行っています。

福祉部会では、乳幼児から高齢者までを対象に、社会福祉協議会と連携しながら、行事を企画して活動しています。今年七月に、車椅子や義肢などを製作している川村義肢株式会社の川村社長に、「不自由を自由に変わる魔法の仕事」というテーマで講演をして頂きました。

人権部会では、差別・男女共同参画等について映画を鑑賞しながら考えたり、社会見学等で部落問題に関する研修・学習を行ったりしています。

環境部会では、二か月ごとに、町内から出るごみや廃油などの回収を行ない、市の環境課と連携しながら、活動しています。

青少年部会では、地域の小学校・中学校に援助をしたり、祭礼前には非行防止の為に催しを行ったりして、青少年の健全育成を目標として活動しています。また、マドカホールで、「八木地区祭礼青少年非行防止決起大会」を開催し岸和田警察から二名の方に非行防止について講演をして頂き、これには市長も参列されました。

文化体育部では市民協本部・久米田池夏祭り実行委員と共に、夏祭りの開催や文化講演会を企画しています。今年の夏祭りの観客は昨年の三倍以上になり、来年は今年より

りも観客が増える予想されます。

広報部会では、全八木地区みんなの広報誌「いきいき八木」発行のため、年間を通じて資料集めや講演会を企画しています。

先にも書きましたが、近年は自然災害・人的災害が多発しています。明日は我が身と思い、災害に関する知識を持たなければいけないと思います。

八木地区市民協議会では、年二回の避難訓練を行っています。七月には、能登半島災害ボランティアに参加した岸和田市危機管理課から、被災地域の現状・復旧工事活動についてお話を伺い、これにより、現場の悲惨な様子が伺い知ることができました。その後、十二月の避難所開設訓練の役割分担の確認を行いました。

避難所開設訓練では、避難に必要な用具・資機材の確認、仮設トイレの設置、段ボールによるパーティション・ベッド作成、車椅子の使用実習・炊き出し訓練も行ない、更に、岸和田市危機管理課の指導でHAG(避難所運営ゲーム)を実施し、避難所の在り方を学ぶこともできました。何度か訓練することにより、各部署の役割を確認でき、訓練の必要性が確認できたと考えております。

今後は、各町会におかれましては、町会役員・隣組で町会独自の防災・避難訓練の計画と実施をお願いしたいと思ひます。

この一年は、メジャーリーグの大谷選手活躍以外には、暗い出来事が多かったように言われますが、我が地区では、明るい出来事もありました。年度の終わりに、久米田高校太鼓部にも参加して頂き、笑福亭銀瓶さん他二名による「八

久米田池夏まつり

夏まつりを終えて



久米田池夏まつり
実行委員会 会長
岡野 輝秋

今年度の第15回久米田池夏まつりは、例年よりも一週間早く7月27日(土)に開催することになりました。

昨年度は、途中から雷雨交じりの大荒れの天気で、イベントは途中で中止となりましたが、花火の打ち上げ時には、天気も回復し無事終了することができました。

今年度は、晴天に恵まれ午後4時からフードコーナーを始めとし、午後5時からご来賓として岸和田市長さんをはじめ、地元の府会・市議会議員さんにご出席して頂き開会式を行いました。駐車場・駐輪場その他の整備徹底と花火の打ち上げ時間を10分から13分とし、3分間延長しました。主催者側の挨拶の後、ご来賓のご挨拶を戴きイベントを

開始しました。歌・踊り・演奏、また池周辺では、陶製ランプシェード等、フィナーレの花火の打ち上げでは、約8000人の方が見物にきていただき大いに盛り上がりながら、無事終わることができました。

次年度も引き続き、より一層充実した夏まつりにして行きたいと思っておりますので、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

最後になりますが、この夏まつりはすべて、個人・団体様のご協賛により運営しておりますので、今後も引き続きご協力よろしくお願い申し上げます。

(2024年11月6日)



開始しました。歌・踊り・演奏、また池周辺では、陶製ランプシェード等、フィナーレの花火の打ち上げでは、約8000人の方が見物にきていただき大いに盛り上がりながら、無事終わることができました。

役員名簿

相談役	樋口 泰城	八木市民センター所長
〃	奥西 巧二	箕小路青少年会館館長
〃	岡野 輝秋	大松里町
〃	藤本 正博	小松里町
〃	根来 敏朗	下池田町
〃	木實 広	久米田中・校長
〃	関本 安紀子	八木小・校長
〃	岸本 康司	八木南小・校長
〃	田辺 真理	八木北小・校長
〃	笠松 武志	西大路町
〃	根来 泰昌	額原町
〃	近土 安孝	箕小路町
〃	藤本 廣視	大松里町
〃	額原 洋	池田町
〃	山本 利幸	五月丘町
〃	川越 信二	西大路町
〃	吉田 俊幸	紅葉ヶ丘町
〃	赤松 朋彦	レックスガーデン
〃	田口 宏和	小松里町
〃	西村 公志	新小松里町
〃	福島 幸孝	花田町
〃	根来 巧	下池田町
〃	山岡 恵美子	下池田東町
〃	根来 敏彦	額原町
〃	三森 勇作	額原町
〃	神園 朋之	松ヶ丘町
〃	内田 綾	緑ヶ丘町
〃	今西 恒毅	桃ヶ丘町
〃	山本 邦子	福社部会長
〃	水嶋 敏徳	青少年部会長
〃	谷川 勇志	文体部会長
〃	野中 多栄子	人権部会長
〃	西浦 吾一	環境部会長
〃	杉原 富人	広報部会長
〃	磯本 義方	青少年指導員会長
〃	山本 明	交通指導員
〃	鳥居 堅一郎	連合青年団団長
〃	今井 恭子	連合子ども会会長
〃	中嶋 勉	水防団団長
〃	木實 広	すこやかネット代表
〃	黒川 秀雄	老人会会長
〃	浅田 昌子	スポーツ推進委員
〃	岡野 輝秋	大松里町
〃	新留 福一	池田町
事務局補佐	新留 福一	池田町

各部会
「活動報告」



青少年部会長
水嶋 敏徳

平素は、青少年部会の活動に格別のご理解とご支援を賜り心よりお礼申し上げます。

今年度も、2024（令和6）年8月25日（日）に『八木祭礼非行防止総決起大会』をマドリホールにて開催致しました。開催にあたりましては、ご来賓の皆様、役員の方々、お越しいただいた各町代表の方々のおかげをもちまして、滞りなく盛大に終えることができました。この紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、昨今の子ども達は、叱られることが少ないためか、新しく社会人となって職場に就いたときに上司や先輩方に叱られ、精神的な病に侵される方がたくさん見受けられます。私たちには、地域に根差した「だんじり祭り」という古い絆があります。子ども達が、飲酒や喫煙など悪いことをしているのを見かけた時には、知らぬ顔をするのではなく、青少年の健全・育成のため、愛情を持って叱ってやって頂きたいと思えます。

最後になりましたが、八木祭礼がこの先も無事故で明るく楽しいお祭りとなりますように心よりお祈りいたします。

今後とも、青少年部会の活動に変わらぬご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

（2024年11月23日）



福祉部会長
山本 邦子

2024年9月14日（土）八木市民センターに於いて、79名参加のもとボランティア・高齢者研修会が開催されました。

「不自由を自由に変わる魔法の仕事」をテーマに川村義枝（株）取締役社長・川村慶氏を迎え、ご講演いただきました。同社では、社訓を厳守、川村氏を筆頭として700名の社員が一丸となり、お客様に寄り添い、お客様の立場になつて自分が納得できる仕事をする。そして、納品時お客様の満足した笑顔とアフターケアを心掛けていますと力強くお話しくださいました。

今年、パリ・パラリンピック競技大会が8月28日から12日間に渡り開催され、14個の金メダルを含む41個のメダルを日本選手は獲得しました。その様子を私達もテレビの前で声援を送ったものです。川村氏のご講演を聞きながら「不自由を自由に変わる魔法の仕事」ってアスリートの皆様の日々の努力の積み重ね、サポートする方々の協力力は勿論ですが、この様な縁の下の方の存在も素晴らしいと思えます。

最後に、社会福祉協議会より、赤い羽根共同募金の協力依頼がありました。

（2024年11月23日）



人権啓発部会長
野中多栄子

2024（令和6）年11月6日（木曜日）、八木市民センターにおいて校区别人権問題研修会「なるほど！人権セミナー」を開催いたしました。

2024年度のテーマは、「ネット社会における部落差別と人権」誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざしてです。SNSや動画サイトでの「誹謗中傷」や「心の葛藤」をテーマにした映画上映会「大切な人」を鑑賞しました。

「デジタルタトゥー」という単語を聞いたことはありませんか？一度インターネットに書き込まれた情報や画像は、削除したとしても完全に削除できず、デマ情報は残り続けることを指す単語だそうです。

昨年度より再開された人権啓発バスツアーを11月28日（木曜日）に奈良水平社博物館へ人権研修となりました。

引き続き八木市民センターにて、第2回目の避難所開設訓練を開催します。開催日は、2024年12月15日（日曜日）です！炊き出し訓練など。

昨今、災害が頻繁に起こっています。南海トラフ地震への備えの一つとして、避難訓練は必要不可欠です。見たこと、聞いたこと、参加して経験したことを日常生活に活かせたらと思います。今後とも、人権啓発部会へのご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（2024年11月20日）



環境部会長
西浦 吾一

環境部会長を務めさせていただいておられます、西大路町の西浦と申します。な

環境部会長の活動にご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。各祭礼団体がリサイクル活動に非常に関心が高く協力的で、二ヶ月に一度の埋め立てゴミの回収、該当月の刃物および廃油の回収に加え、開始以来三年を経過した各祭礼団体輪番制による、毎月実施の廃品回収にも積極的に参加してくれています。その折には、若い方から、ゴミの分別方法についての質問が出ることもあり、若年層にもリサイクルや資源の有効活用に対する関心が高まって来ていることをひしひしと感じております。その意識が今以上にものごとく浸透するように努力して行こうと考えております。

また、祭礼団体が参加してくれる事により、町の方々と祭礼以外の場でコミュニケーションが取れることで、町の雰囲気も良くなっているように感じられます。各町会様におかれましても、環境部会以外の積極的な美化運動ボスターの参加が行われていると聞き及んでおります。

今後、よりリサイクル、環境美化運動に努力をしてまいりますので、どうぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

（2024年10月27日）



広報部会長
杉原 富人

広報部会の活動は、『いきいき八木』の年1回の発行と公開講演会の開催です。後者に際して、2024年度は2回公開講演会を開催しました。前号で紹介できなかった前年度（2023年）12月開催講演会と今年度2回の講演会（岸和田市図書館友の会との共催）の概要を以下に報告します。

①「歴史の重層性からみた摩湯山古墳と久米田古墳群」

講師：山岡邦章氏（岸和田市郷土文化課）

日時：2023年12月23日 13:30～16:30

参加者：53人



「古墳」とは、正統な継承者であることを証明するための舞台装置であり、権力の継承のシンボルです。また、前期古墳の特徴は「聖俗二重陵墓制」にあり、「聖」とはシャーマン、「俗」とは軍事に代表されるそれぞれの王を表すと言われています。

しかし、4世紀後半に築造された「摩湯山古墳」に関しては、学術的な発掘調査はほとんど行われておらず、その実態は不明なままです。一般的に唱えられている様々な巷説のすべてが憶測にすぎず信頼性のあるものは皆無といつてよいものであ

る、と郷土文化課山岡氏は説かれました。



そのような現状に対し、氏はこれまで行われた堤の一部や昭和と平成に行われた測量調査図等の比較考量から、人工的に配置されたと推量される石の並び、「造り出し」や祭祀跡の痕跡、陪塚である馬子塚古墳との関係性、副葬品としての摩湯山古墳の円筒埴輪と久米田古墳群のガラス玉との対比等を検討されました。

聴講した参加者から、「摩湯山古墳がよく分からないことが分かり、いろいろな巷説があり、魅力的な古墳であることを再認識しました。」「摩湯山古墳の特殊性がわかりました。謎だらけとおもしろかったです。」との感想が寄せられました。

②「倭国と和泉の古墳時代」



講師：岸本直文氏（大阪公立大学文学研究科 教授）

日時：2024年6月22日 13:30～16:45

参加者：60人

今回、岸本氏のダイナミックな話し方に引き込まれ、倭王権と久米田古墳群（貝吹山古墳、風吹山古墳、無名塚古墳など）・摩湯山古墳とのかわりの説明を聞いて、普段から

の疑問がすっきりと解明される内容でした。

貝吹山古墳は全長132mの前方後円墳であり、4世紀中頃にこの地の首長の墳墓として築かれました。ヤマト王権の韓半島の鉄資源確保のための海上交通の拠点確保を目的とし、和泉地域の首長を同盟内の有力地位に引き立てた結果、突如として築かれたのです。この古墳は、奈良市北部に位置する佐紀古墳群の『佐紀陵山古墳』と相似形（『執政王系列』）であると指摘されました。その後、4世紀後半には、和泉の地に倭王権（ヤマト王権）の王族が派遣され、一代限りの200メートル超級の巨大な前方後円墳・摩湯山古墳が造られたのです。この古墳は同じく佐紀古墳群の『五社神古墳』と相似形（『神聖王系列』）であると明示されました。この岸和田の地が、今から1600年前にのんびりとした古代人の生活が、武人や船人、土師氏（古墳を作る人びと）の集まる騒然とした場所に変わり、その後、情勢の変化に伴い、河内政権の支配地に移っていききました。地元の有力首長が豊かなこの地で繁栄して、古墳を築いたのだろうと思っていたのに、なんと古代の倭王権の日本史的な歴史の場だったのでしょうか。とて

もびつくりしてワクワクして、そしてちよつぱり摩湯山古墳の被葬者が地元首長ではなかったことにガッカリして、岸和田の古代のロマンに浸った参加者も多かったでしょう。

734年に久



米田池が造られる時の350年前、久米田丘陵の縁の一部が湿地帯だった時代のことです。

参加者からは、「ダイナミックで大変わかりやすくてよかったです。最後の『和泉の主要古墳の編年図』圧巻でした。ありがとございました。」「久米田貝吹山古墳、摩湯山古墳の形態がわかったので良かったです。」などの感想が寄せられました。

③「卑弥呼とヤマト王権 ―邪馬台国論の現在地―」

講師：寺沢薫氏(桜井市郷向学研究センター所長)
日時：2024年11月30日
13:30～16:45
参加者：57人



寺沢氏の講演は、丁寧に2時間20分をかけて「卑弥呼とヤマト王権」の考古学的成果である纏向遺跡の出現という重大な事件を中心に新たな邪馬台国論を展開されました。山積する考古学の発掘資料を総合的に精査し、そこから得られる2～3世紀の権力構造や政治的な枠組を正しく組み立て、その上でいわゆる『魏志倭人伝』などの中国史書に描かれる「卑弥呼共立」のプロセスと照合するという正当な方法を徹底することで、「邪馬台国所在地論争」の終結の糸口を提示されたのです。そして、卑弥呼は新生倭国Ⅱヤマト王権の初代王であることを強調されました。

「その国は元は男子を王とし

ていたが、居住して7、80年で、倭国は乱れ、互いに攻撃しあつて年を経た。そこで、一女子を共に立てて王と為した。名は卑弥呼と



「倭国乱れ」は戦をしたのではなく、多数の国の集まる倭国が政治的に治まらなくなった為に合議により女王を立て卑弥呼が生れた。」「卑弥呼の前の男王は伊都国の王であった。」との主張も説得的でした。纏向遺跡はもちろんだが、北九州の平原古墳、三雲井原古墳などを訪ね、糸島市の伊都国博物館で、膨大な数の、想像を超える大きな鏡を實際に見た方には、当時の情景までもが思い浮かんだことでしょう。また、伊都国の王が大卒(役人)であったことや「政治的合意の黒幕は公孫氏」と示唆され、日本周辺の古代とともに、ヤマト王権形成プロセスを描いた壮大な講演でした。

参加者から、「倭国と邪馬台国の区別がとってもクリアになった。魏との関係もよくわかって良かった。座学でなく、現地にも行ってみたいくなりました。」「わかりやすい語り口で、『卑弥呼は(ヤマト)国女王である』ことがよくわかりました。この国最初の王権は壮大な政治的談合(会合)によって平和裡に達成されたのは大変興味深かった。」などの感想が寄せられました。

(2024年12月3日)

八木連合青年団 「活動」報告



八木連合青年団団長
鳥居堅一郎

八木地区の祭礼は華麗で勇壮な伝統のある祭礼です。私たち八木連合青年団はその八木祭礼を安全・安心に執り行うべく警備の一翼を担っており、今年度は八木祭礼年番を筆頭に各警備団体が尽力し、大きな事故もなく祭礼を終えることができました。また本祭一日目には久米田駅前商店街にてパレードを主催しており、このパレードは諸先輩方より受け継がれてきた八木祭礼を象徴する催しの一つです。しかしながら、このパレードでは華麗な曳行を演出するために多数の紙吹雪を使用したこと、地域住民の方々には多大なるご迷惑をおかけしました。甚だ略儀ではございますが、お詫び申し上げます。

さて八木連合青年団では、祭礼以外にも各町青年団の交流を図るべくソフトボール大会を企画・運営しております。今年のソフトボール大会では見事に額町青年団が昨年に続き二連覇を達成しました。また八木祭礼非行防止総決起大会では、團長の大会宣言を皮切りに八木地区の青少年の健全育成のため、決意を新たにしました。今後も青少年活動においては、地域住民の方々や青少年指導員と連携を図り、八木地区の明るい未来のために尽力していく所存です。

最後に八木祭礼に際しまして、ご協力いただいた地域住民の皆様、各町に所属しておられる祭礼関係の皆様、そして関係各所の皆様に厚く御礼申し上げます。今後も、皆様と力を合わせ、より良い八木地区を築いていきたいと思っております。

(2024年12月2日)

連合子ども会 「活動」報告



連合子ども会会長
今井 恭子

日頃より八木連合子ども会の活動にご理解とご支援ご協力を頂き心よりお礼申し上げます。

令和6年度の活動としまして、今年度は天候にも恵まれて、ドッチボール大会を5月12日(日)に八木北小学校グラウンドをお借りして開催することができました。各町接戦を繰り広げ、悔しい思いをした子や嬉しい思いをした子どもたちがいました。また、10月27日(日)には、八木北小学校で運動会の開催ができ、町別競技や校区対抗による競技で大変盛り上がりしました。開催するにあたっては、市長や市民協議会、各小学校の関係者各位、運営する側としても連合役員はもちろんです。顧問やOB、各校区長や副校区長、各町子ども会の指導員の方々、保護者の皆様と多くの方々の協力のもと、大きな怪我を出すこともなく開催できました。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。今後とも八木連合子ども会として、子どもたちの成長に少しでもお役に立つ事ができればと思っております。今後ともご協力ご支援をお願いいたします。

(2024年11月24日)

小・中学校の 活動報告

久米田中学校



校長
木實 広

地域の皆さまには平素より本校の教育活動にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、本校は教育目標を「知・徳・体、調和のとれた生徒の育成」と掲げ、笑顔あふれる学校づくりに取り組んでいます。二学期は様々な行事を行いました。9月27日の文化祭では、学年劇やダンス、百人一首大会、巨大モザイクアートや学級旗、デザインを凝らしたゴミ箱製作など、舞台の部も展示の部も大いに盛り上がりしました。

10月25日の体育大会では、中学生らしい凜冽とした姿を



至る所で見ることができました。精一杯の声で応援する姿を見て、クラスの団結を感じました。

文化祭も体育大会も、たくさんの方の保護者の皆様にご参観いただきました。子ども達の表情がいつも以上に生き生きとしていたのは、きっとそのお陰だと思っています。

12月には、合唱コンクールが控えています。どのクラスも朝や放課後に練習を重ねていて、学校の至る所から歌声が聞こえてきます。また、2年生は職場体験学習を実施します。今年も地域の方をはじめ、たくさんの方の協力に感謝を頂いております。子ども達に貴重な体験の機会を与えて頂き、誠にありがとうございます。

一つ宣伝をさせていただきます。毎週金曜日の朝8時から、有志の子ども達が参加してボランティア活動をしています。火ばさみやバケツを持ち、腕に腕章を巻いて学校周辺のゴミ拾いをしています。お見かけになりましたら一言声をかけて頂ける



と励みになります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

八木小学校・幼稚園



校園長
関本 安紀子



八木小学校幼稚園3年目となりました。平素より、地域の皆様方には、本校園の教育活動に、ご理解とご支援を賜り厚く感謝申し上げます。本校では学校教育目標『生き生きとした心豊かな子どもを育てる』の理念のもと、『知・よく考える子』『徳・真心を大切にする子』『体・明るく強い子』をめざし、教育活動に取り組んでいます。

今年度、大阪府「学校図書館を充実・活用するためのモデル校」として、学力向上と授業力向上をめざし、子どもたちも教職員も一緒に励んでいます。取組の一環で、学校図書館を、読書センター・学習センター・情報センターとして、積極的に活用しています。5月は大学の先生をお招きした研修会、6月は大阪府教育庁の方が参



研修会(5月)

